

しじゅうご縁がありますように ～結神社「赤い糸」の製作～

12月3日（土）、結神社にある結コミュニティセンターで赤い糸の製作が行われました。

この日は神社の役員や有志の方が集まり、新年に向けて1,000個以上の赤い糸が作られました。

この赤い糸は、「しじゅうご縁がありますように」との思いから長さが45cmとなっています。恋愛だけでなく家族や友人の間にも良縁がありますようにとの願いを込めて作られています。



▲良いご縁がありますようにと願いを込めて

高齢者助け合い生活支援事業 ～元気サポーター養成講座～

11月21日（月）から、町役場で元気サポーター養成講座が行われました。これは来年度から新たに始まる高齢者助け合い事業において、住民がサポーターとなって高齢者世帯の暮らしを手伝っていただく方を対象としたものです。

応募により34の方が受講され、「認知症の理解」や「コミュニケーションについて」など全7日間の講座が開催されました。



▲真剣に講座を聴く受講生

災害時にも繋がりがやすく ～西日本電信電話（株）と協定～

西日本電信電話株式会社岐阜支店と、災害時における非常回線電話の協定を締結しました。

これは町内の避難場所となっている13カ所に災害時専用の電話回線を設けることで、通常回線が混雑している時でも繋がりがやすい回線を確保することを目的としています。

締結にあたり、米田秀弥支店長は「使われないことが望ましいが、いざという時に役立ててもらいたいです。」と話されました。



▲交わされた協定書

おいしいもち米でおいしいおもちを ～名森野球スポ少がもち米寄贈～

11月21日（月）、名森野球スポーツ少年団がもち米の寄贈のため、町役場を訪れました。

同団は毎年、新年のグラウンド開きの際に、もちつきを行っており、その際に使うもち米は、団員たちが田植えをして収穫したものです。

寄贈されたもち米は12月6、7日に町内の各保育園で行われたもちつきに用いられ、園児たちがおいしくいただきました。



▲皆で汗を流して田植えをしたもち米